

2019 | ミニ・ディスクロージャー誌

2019年3月期 営業のご報告



**WITH YOUR
CHALLENGE** 

応援したい。挑戦するすべての人を。

千葉銀行について

プロフィール (2019年3月31日現在)

社名	株式会社千葉銀行	総資産	14兆8,916億円
設立	1943 (昭和18) 年3月	預金	12兆3,334億円
本社所在地	千葉市中央区千葉港1-2	貸出金	10兆1,368億円
従業員数	4,224人	資本金	1,450億円
発行済株式数	840,521千株	総自己資本比率	連結12.63% 単体12.04%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

店舗・ATM ネットワーク (2019年3月31日現在)

店舗数

県内	160店舗 (うち、特別出張所5店舗、出張所14店舗、 仮想店舗3店舗)
県外	22店舗 (東京都13店舗・出張所2店舗、大阪府1店舗、 埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗 (ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	3か所 (上海、シンガポール、バンコク)
両替出張所	3か所

ATM

自行店舗外現金自動設備	294か所 (うち、県内289か所)
イーネットとの提携 による共同ATM	12,377か所 (うち、県内565か所)
セブン銀行との提携 による共同ATM	23,367か所 (うち、県内1,327か所)
ローソン銀行との提携 による共同ATM	13,441か所 (うち、県内560か所)

コンサルティングプラザ、ローンプラザ、 ほけんの窓口@ちばぎん

コンサルティング プラザ	4か所 (千葉・柏・ 船橋・市川)
ローンプラザ	2か所 (千葉中央・柏)
ほけんの窓口 @ちばぎん*	2か所 (千葉・船橋)

※2019年4月に柏の葉キャンパス店、ひまわりラウンジ
津田沼店がオープン

グループ会社一覧 (2019年3月31日現在)

株式会社総武	ちばぎんキャリアサービス株式会社	ちば債権回収株式会社
ちばぎんハートフル株式会社	ちばぎん証券株式会社	ちばぎん保証株式会社
ちばぎんジェーシーピーカード株式会社	ちばぎんディーシーカード株式会社	ちばぎんリース株式会社
ちばぎんコンピューターサービス株式会社	ちばぎんキャピタル株式会社	ちばぎんアセットマネジメント株式会社
株式会社ちばぎん総合研究所	T&Iノベーションセンター株式会社	

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会 連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

Contents

1
千葉銀行について

2
頭取メッセージ

5
中期経営計画「ベストバンク2020
Final Stage—価値共創の3年」

6
アライアンス戦略

7
フィンテックの取組み

8
地方創生に向けた取組み

9
ダイバーシティの推進

10
株式の状況

11
ちばぎんグループのESGへの取組み

13
2019年3月期 業績のご報告

裏表紙
ちばぎんからのお知らせ



「持続的経営の実現」に向けて

取締役頭取

佐久間 英利

経営環境

当行の主要な地盤である千葉県は、都市部を中心に人口流入が続き、圏央道・外環道といった交通インフラの整備や成田エリアにおいて空港の機能強化などが進展しています。さらに、東京オリンピック・パラリンピック開催の経済効果も見込まれており、引き続き高い成長が期待されています。

一方、地域経済の担い手である事業者は、後継者不在による事業承継問題など、様々な経営課題を抱えています。お客さまと向き合い、課題解決に向けて有益な提案・支援を行うことが重要であると考えています。

ベストバンク2020 Final Stage —価値共創の3年

2020年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage—価値共創の3年」では、こ

れからの厳しい環境変化を見通すなかで、多様なステークホルダーとともに共通価値を創造（価値共創）し、地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを目指しています。

本中計で取り組むべき主要課題については施策が着実に進捗しており、最終年度である今年度は総仕上げを行ってまいります。

コンサルティング機能の強化

お客さまの経営課題の解決に向け、2018年11月より「事業者向けアドバイザー業務」を開始しました。地方創生に向けた取組みでは、グループ一体で支援した銚子市の「空き公共施設の利活用によるスポーツタウンブランディング事業～銚子スポーツタウン」が、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され、内閣府特命担当大臣

より表彰を受けました。

個人のお客さまに対しては、グループのちばぎん証券船橋支店や、保障性保険を取り扱う「ほけんの窓口@ちばぎん」柏の葉キャンパス店・ひまわりラウンジ津田沼店を新設し、資産運用のご相談を受けられる拠点を増やしています。

さらに、お客さまの財産の円滑な承継をサポートするため、相続関連・信託業務を推進しています。

デジタル化への取組み

急速に進む社会のデジタル化への対応として、2019年2月にデジタル通帳（通帳アプリ）の取扱いを開始しました。また、来店頻度が少ないお客さまに対しては、インターネットやスマートフォン等による非対面チャネルを拡充しています。

この他、キャッシュレス化の流れに対応するため、複数の金融機関の利用を想定した「TSUBASAキャッシュレス決済プラットフォーム」を構築中です。

業務改革

抜本的な業務改革による生産性向上と成長分野への人員再配置を着実に進めています。店頭・店内業務、融資業務、本部業務の3部門においてRPA^{*1}の導入、ペーパーレス化等により業務効率化を進めてまいります。

※1 Robotic Process Automation：ロボット技術を活用したソフトウェアにより、定型業務を代替する業務自動化の仕組み。

多様な人材の育成・活用

将来の環境変化に対応できる柔軟で強い組織をつくるため、プロフェッショナル人材の育成とダイバーシティの推進を重要な経営戦略と位置づけており、働き方改革にも積極的に取り組んでいます。

女性活躍の分野では、執行役員や国内外の拠点長への登用を進めるとともに、新たに2か所の事業所内保育所「ひまわり保育園」を設置し、仕事と育児の両立を支援する環境整備を行っています。

こうした取組みを評価いただき、女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に2年連続で選定されました。

グループ一体経営

当行は、証券・アセットマネジメント・リース・キャピタル・総合研究所などのグループ会社があり、地域の総合金融グループとしてお客さまに幅広いソリューションを提供しています。2019年4月には、ちばぎんキャリアサービスが取引先企業への「人材紹介業務」を開始しました。

加速するアライアンス戦略

〈千葉・武蔵野アライアンス〉

埼玉県を地盤とする武蔵野銀行との「千葉・武蔵野アライアンス」では、スピード感をもって様々な施策に取り組んでいます。2018年は、浜松町法人営業所と武蔵野銀行浜松町オフィスを共同設置したほか、シンガポールにおいても協働

体制を構築し、国内外でお客さまをサポートする態勢を整えました。

2019年10月には、池袋支店の共同出店を予定しており、今後も首都圏でのシェア拡大を目指してまいります。

〈TSUBASAアライアンス〉

地域広域連携の枠組み「TSUBASAアライアンス」では、武蔵野銀行と滋賀銀行が新たに加わり、9行体制となっています。

2018年は北洋銀行と基幹システム共同化について合意したほか、第四銀行・中国銀行とともに新たな窓口システム「TSUBASA Smile」の開発を進めました。さらにAPI^{※2}の共通基盤「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用して様々なフィンテックサービスの提供を開始しました。

2019年10月には、このアライアンスの枠組みを活かし東邦銀行の水戸支店内に当行の法人営業所の開設を予定しています。

9行の総資産合計は65兆円を超え、メガバンクに次ぐ規模を活かした、より質の高い金融サービスを提供してまいります。
※2 Application Programming Interface：外部から銀行システムに接続し、安全に情報を取得できるようにする仕組み。

ESG課題への対応とSDGs宣言

当行では、長期志向で社会価値と経済価値との両立を目指す「持続的経営」の考え方にに基づき、地域が抱える社会・環境課題をESG^{※3}の観点で捉え、行内に「ESG推進委員会」を立ち上げ、「ちばぎんグループSDGs^{※4}宣言」を行いました。また、「TSUBASAアライアンス」でも共

同で「TSUBASA SDGs宣言」を行っています。

- ※3 Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の3分野
- ※4 Sustainable Development Goalsの略称で2015年に国連で採択された2030年までの持続可能な開発目標のこと。

ガバナンス強化への取組み

コーポレートガバナンスの高度化に向けては、グループチーフオフィサー制を導入し、グループを統合した経営管理体制を構築しています。さらに、取締役会における社外役員比率を3分の1に引き上げ、取締役会の実効性について外部機関を活用した検証・評価を実施しています。この他、株主との建設的な対話に向け、IRなどをつうじて積極的な情報開示に努めています。

「持続的経営」の実現に向けて

2020年度より次期中計がスタートしますが、業務改革によって高い生産性を実現するとともに、お客さまとの接点を増やし、高度なソリューションやサービスを提供してまいります。また、アライアンスを活用した新たな事業領域の開拓にも取り組んでまいります。

こうした取組みをつうじ、当行は多様なステークホルダーとともに共通価値を創造（価値共創）し、「持続的経営」を実現してまいります。

今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

ベストバンク2020 Final Stage

価値共創の3年

目指す姿

- 本中期経営計画は、前中期経営計画から掲げている2020年の目標である「リテール・ベストバンク」グループをつくりあげ、中長期的に予想される環境変化に向けた基盤とするための総仕上げの3年です。
- 「お客さま」「株主」「従業員」「地域社会」など多様なステークホルダーとともに共通価値を創造（価値共創）することで、先進的かつ高い生産性と揺るぎない信頼を確立し、地域とともに持続的な成長を実現していきます。

先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する
「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

CS（お客さま）

「お客さま第一主義」を徹底し、先進的なサービスやソリューションの提供をつうじてお客さまのニーズにスピード感をもってお応えします

ES（従業員）

ダイバーシティの一層の推進や働き方改革をつうじて、職員一人ひとりが能力を最大限発揮し働きがいのある魅力的な職場をつくります

SS（地域社会）

地域のリーディングバンクとして、グループの総力を結集し、地域の活性化をリードしていきます

主要課題

1 お客さまとの共通価値の創造

2 全ての職員が輝く働き方改革の実現

3 持続的成長に向けた経営態勢の強化

中期経営計画計数項目の進捗状況

(単位：億円)

目標とする指標	2018/3期 (実績)	2019/3期 (実績)	2020/3期 (計画)
親会社株主に帰属する当期純利益	537	504	600
連結ROE（株主資本ベース）	6.76%	6.15%	7%台
連結普通株式等Tier1比率	12.48%	11.97%	12%台
貸出金残高	98,160	101,368	105,000
預金残高	120,170	123,334	125,000
グループ預かり資産残高	20,499	20,537	25,000

アライアンス戦略

当行は、地域のお客さまのメリットを追求し、企業価値向上を実現するためアライアンス戦略を加速させています。

武蔵野銀行との包括提携 千葉・武蔵野アライアンス



○移住・定住セミナーの共催（2019年4月）

県内自治体の移住・定住施策を支援・協力する目的で開催してきた「ちばぎん移住・定住セミナー」を、7回目となった今回は「千葉・武蔵野アライアンス 移住セミナー」として武蔵野銀行と共催しました。

千葉県からは館山市に、埼玉県からは秩父市・横瀬町・小鹿野町に協力いただき、当日は59人の方が参加されました。



個別相談会の様子

—地銀9行による広域連携— TSUBASAアライアンス



○武蔵野銀行、滋賀銀行の参加（2019年3月、5月）

新たに武蔵野銀行と滋賀銀行が加わり、参加行は9行となりました。参加9行の総資産は65兆円を超え、メガバンクに次ぐ規模となっています。



○「TSUBASA SDGs宣言」の制定（2019年5月）

地域の持続的な成長に向け、地域が抱える社会・環境課題への対応を一層強化していくため、共同でSDGs[※]宣言を行いました。

※Sustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までの持続可能な開発目標のこと。



調印式の様子

フィンテックの取組み

当行は、IT技術を活用し、お客さまに先進的で利便性の高いサービスを提供するとともに、業務効率化にも積極的に取り組んでいます。

通帳アプリの提供開始 (2019年2月)

2019年2月より、従来の紙の通帳に替わる「通帳アプリ」の提供を開始しました。

お客さまは、このアプリを使って預金口座の残高や最大10年分の入出金明細を24時間いつでもリアルタイムに照会できます。指紋認証や顔認証にも対応していますので、かんたんに安心してアプリをご利用いただけます。



第2回フィンテックビジネスコンテストの開催 (2018年10月～2019年3月)

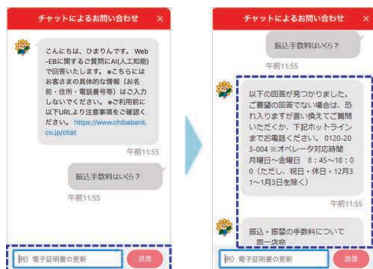
TSUBASAアライアンス参加行とT&Iノベーションセンター株式会社は、2回目となるフィンテックビジネスコンテストを開催しました。

今回は、地方銀行がもつビッグデータや顧客ネットワークなどの経営資源を活用して銀行ビジネスそのものを変革しようというアイデアやプランを募集し、全国104先・123件の応募の中から選考を経て6社を表彰しました。



AI (人工知能) を搭載したチャットボットの導入 (2019年5月)

お客さまからのお問い合わせをいつでも受け付けられる仕組みの構築を目指し、法人向けインターネットバンキングに関するお客さまからのお問い合わせにAIが即時にお答えするチャットボットを導入しました。



地方創生に向けた取組み

当行は、地域のトップバンクとしてグループを挙げて「地方創生」への取組みに積極的に参画してまいります。

観光用レンタサイクルの贈呈！(2019年4月)

サイクルツーリズムによる県内の観光振興を目的に、2015年度より「ちばプロモーション協議会」をつうじて県内市町村へ観光用レンタサイクルを贈呈しています。今年度分の26台を含めこれまでに贈呈した295台は県内30市町村で活用されています。



贈呈式の様子

大多喜町などと観光まちづくりに関する連携協定の締結(2019年4月)

この協定は、大多喜町で始動したDMO*を中心とした官民連携による観光まちづくり事業を後押し、古民家などの歴史的資源を活用した新たな地方創生のモデル創出を目的としています。今後、事業者誘致や観光業を中心とした産業振興などに取り組んでいきます。

※官民連携による地域の観光振興を積極的に推進する法人組織のこと。



締結式の様子

2年連続 当行の地方創生の取組みが評価され、大臣表彰を受けました

当行が取り組む「空き公共施設の利活用によるスポーツタウンブランディング事業～銚子スポーツタウン」が内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され、今年3月、片山内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰を受けました。なお、当行の受賞は2年連続となります。

今回の取組みは、廃校となった高校をスポーツ合宿施設「銚子スポーツタウン」として再生する銚子市のまちおこしを支援したもので、当行グループによる投融資やブランディングを行った結果、交流人口の増加や雇用の創出などで成果が出ていることが高く評価されました。



表彰式の様子

ダイバーシティの推進

当行はダイバーシティを一層推進し、性別・年齢等を問わず全ての職員が輝ける組織を実現します。

第3回「ダイバーシティフォーラム」の開催(2019年3月)

職場全体へのダイバーシティの一層の浸透を図るため、2019年3月、第3回「ダイバーシティフォーラム」を開催しました。当日は役職員193名が参加し、東京海上日動火災保険株式会社の柴崎博子顧問による「全ての職員がやりがいを持って働く組織とは」をテーマとした基調講演のあと、参加者によるワークショップでは活発な意見交換が行われました。



ワークショップの様子

県内
企業初

均等・両立推進企業表彰 ファミリー・フレンドリー企業部門 「厚生労働大臣優良賞」を受賞しました

2018年11月、厚生労働省が仕事と家庭の両立支援に積極的な企業を表彰する「均等・両立推進企業表彰ファミリー・フレンドリー企業部門」において、県内企業として初めて「厚生労働大臣優良賞」を受賞しました。

育児休業者の復職に向けたサポートや男性職員の積極的な育児参画の呼びかけにより、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいることや、業界や地域とのネットワークづくりにも力を入れていることなどが評価されました。



表彰式の様子

2年
連続

「なでしこ銘柄」に選定されました

昨年度に続き平成30年度「なでしこ銘柄」に当行は2年連続で選定されました。「なでしこ銘柄」とは毎年、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍推進に優れた上場企業を業種ごとに選定し、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家に対して魅力ある銘柄として紹介しているものです。



発表会の様子

株式の状況

株式の所有者別状況

2019年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)
政府・地方公共団体	3	98	0.00
金融機関	86	3,437,734	40.92
金融商品取引業者	35	177,386	2.11
その他の法人	1,265	1,215,242	14.47
外国法人等	532	1,714,915	20.41
個人その他	28,080	1,855,105	22.09
計	30,001	8,400,480	100.00

- (注) 1. 1単元の株式数は100株です。なお、上記の他、単元未満株式は473,087株となっております(2018年4月1日より単元株式数を1,000株から100株へ変更しております)。
 2. 自己株式79,122,719株は「個人その他」に79,122,271単元、単元未満株式に19株含まれております。なお、自己株式79,122,719株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は79,121,719株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が10単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <https://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

2019年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	52,123	6.84
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	36,583	4.80
日本生命保険相互会社	26,870	3.52
第一生命保険株式会社	26,230	3.44
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	18,537	2.43
明治安田生命保険相互会社	18,291	2.40
住友生命保険相互会社	17,842	2.34
株式会社三菱UFJ銀行	17,707	2.32
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	15,001	1.97
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	13,702	1.79

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式79,121千株があります(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となつていますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株以上
保有の株主

株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)より、千葉県の特産品等、当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待^{*}が受けられる株主優待クーポン、TSUBASAアライアンスに参加する地方銀行4行(第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行)の地元特産品等のいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等3,000円相当 または株主優待クーポン1枚 またはTSUBASAアライアンス 共同企画特産品等3,000円相当	千葉県の特産品等6,000円相当 または株主優待クーポン2枚 またはTSUBASAアライアンス 共同企画特産品等6,000円相当

- ^{*}金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分の二割替が上限)
 3. 遺言信託引受手数料20%割引
 4. ちばざん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
 5. ちばざん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

ちばぎんグループのESGへの取り組み

ちばぎんグループでは、長期志向で社会価値と経済価値との両立を目指す「持続的経営」の実現に向け、ESG（環境・社会・ガバナンス）課題やSDGs(持続可能な開発目標)の観点を踏まえた取り組みを積極的に進めています。

環境

本業をつうじた環境への貢献

再生可能エネルギーの活用に取り組むお客さまを広く支援しており、バイオマス発電事業や風力発電事業に対するプロジェクトファイナンスにも取り組んでいます。

また、世界銀行（国際復興開発銀行）発行の「グリーンボンド」（インドルピー建）をTSUBASAアライアンス参加行のグループ証券子会社が共同販売し、当行においても金融商品仲介業務の形態で取り扱いました。

〔ちばぎん証券累計販売額：4,229百万円（2018年度まで）〕

森林整備活動

松くい虫や津波の被害により、失われつつある海岸保安林を再生していくことを目的に、「ちばぎんの森」森林整備活動を行っています。2018年5月には、総勢約200人の当行役職員やOB・OGのボランティアが山武市蓮沼の「ちばぎんの森（第5）」にて、クロマツ・マサキ等の苗木5,000本の植樹を行いました。今後、これまでの「ちばぎんの森」同様、定期的の下草刈り等の育樹活動を継続していきます。



社会

学校環境整備やスポーツ振興をつうじた地域貢献

当行では、私募債発行企業から受け取る引受手数料の一部で寄付や寄贈を行う寄付型私募債を取り扱っています。

「地方創生私募債（みらいはぐくみ債）」は、発行企業が指定する学校等に教育関連等の物品を寄贈するもので、2019年3月期までの発行額累計は439件／428億円です。

「スポーツ応援私募債（ちばスポーツ債）」は、発行企業が指定する県内自治体のスポーツ振興事業への金銭寄付やスポーツチーム等へスポーツ用品等の物品を寄贈するもので、2019年3月期までの発行額累計は34件／30億円です。

金融リテラシー向上への取り組み

金融リテラシーの向上に向けて、若年層を中心にさまざまな金融教育の取り組みを行っています。

地元の千葉大学では冠講座を設け、当行から講師を派遣して授業を行っています。また、「学生版ビジネスアイデアコンテスト」を毎年実施しており、将来の担い手となる学生の企業家精神の向上に努めています。

この他、高校生を対象とした「エコノミクス甲子園」の実施、小中学生向けに職場体験の受け入れや出張授業などを行っています。

取締役・取締役会

取締役会は、社外取締役3名を含む9名の取締役で構成（社外取締役が占める割合は3分の1）され、経営方針やその他重要事項を決定するとともに、取締役および執行役員の業務執行を監督します。

取締役の選解任および役員報酬等について、取締役会議長の諮問機関として「指名・報酬・経営諮問委員会」を設置しており、委員の過半数は社外取締役から選任しています。

監査役・監査役会

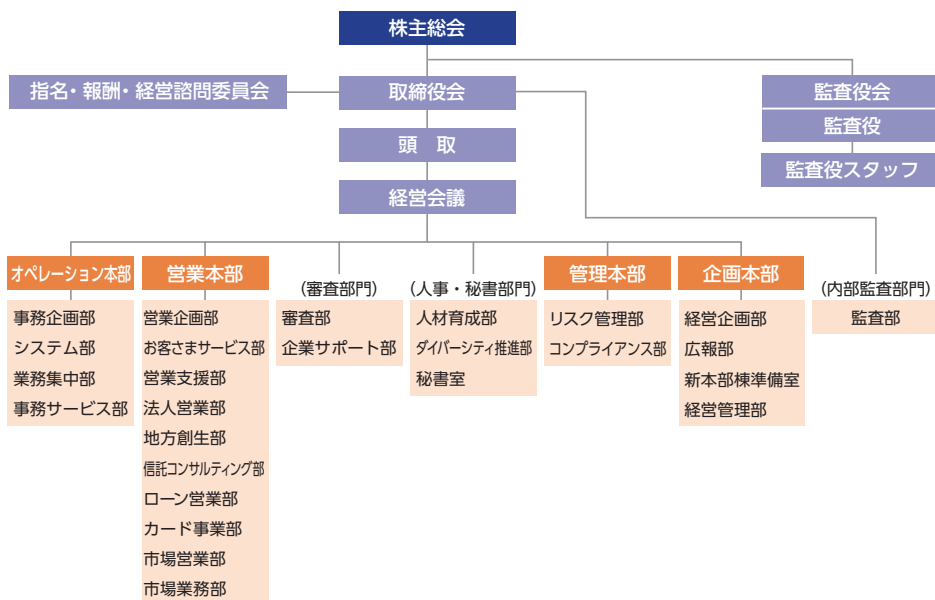
当行は、5名の監査役のうち過半数の3名を社外監査役とする監査役会設置会社の形態を採用しています。特に社外監査役2名を含む3名の常勤監査役が、取締役会をはじめとする重要会議への出席および重要書類の閲覧等をつうじ、業務執行状況について客観的・合理的な監査を行っており、当行の経営に対する監督機能を十分に果たしています。

グループ管理体制

「グループチーフオフィサー制」を導入し、グループCEO（最高経営責任者）による全体統括のもと、所管分野の責任者としてグループチーフオフィサーを配置することでグループ統合的な経営管理体制を構築しています。

●コーポレートガバナンス体制図

(2019年6月26日現在)



2019年3月期 業績のご報告

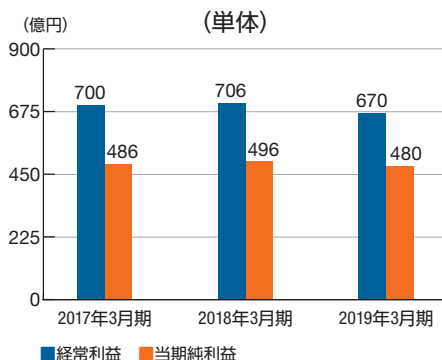
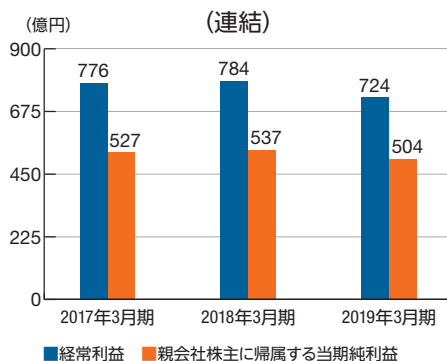
2019年3月期は、連結経常利益が前期比60億円減少の724億円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比33億円減少の504億円となりました。

総自己資本比率は、連結で12.63%、単体で12.04%となりました。

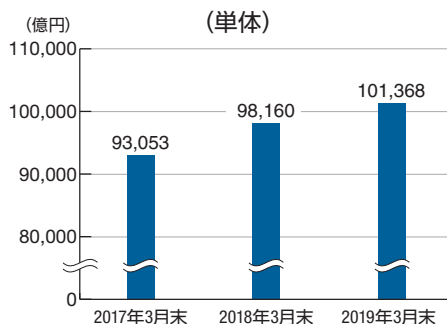
貸出金は、前期末比3,208億円増加の10兆1,368億円となりました。そのうち、事業者向け貸出が前期末比1,673億円増加、住宅ローンが前期末比1,175億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより、前期末比3,163億円増加し12兆3,334億円となりました。

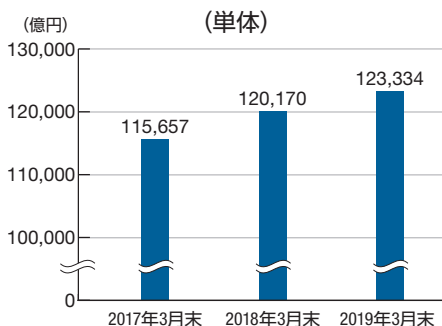
損益の状況



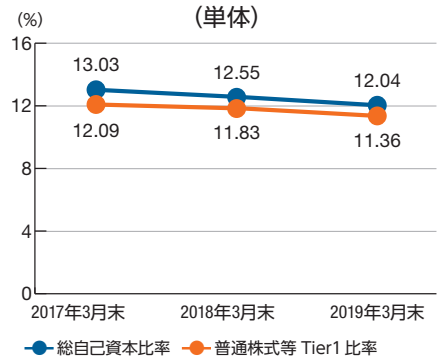
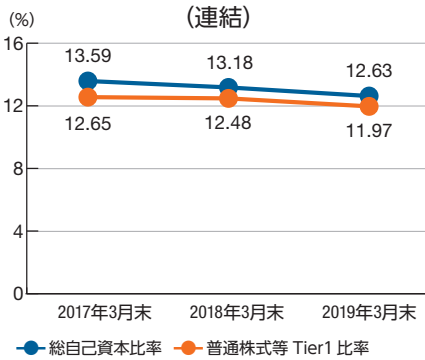
貸出金の状況



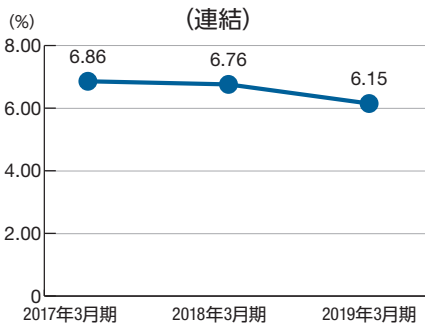
預金の状況



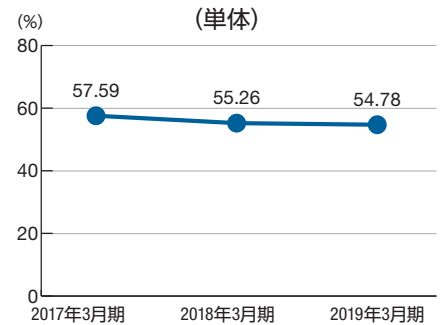
自己資本比率の状況



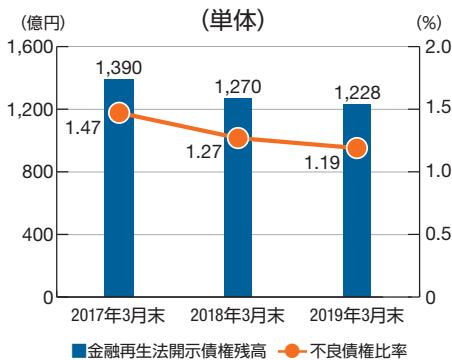
ROE (株主資本ベース)



OHR



金融再生法開示債権



格付け

	長期	短期
ムーディーズ	A1	P-1
スタンダード&プアーズ	A	A-1
格付投資情報センター	AA-	—

ちばぎんからのお知らせ

📢 グループのSDGs宣言を制定しました

2019年5月、地域が抱える社会・環境課題の認識やこうした課題に対する当グループの取組方針をまとめた「ちばぎんグループSDGs宣言」を制定しました。



【ちばぎんグループSDGs宣言】

ちばぎんグループは、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、地域の持続的な成長を実現するため、次にかかげる地域の社会・環境課題に取り組んでいくことを宣言します。

テーマ	マテリアリティ
1. 地域経済・社会	地域経済とコミュニティの活性化に貢献します。
2. 高齢化	高齢者の安心・安全な生活を支えます。
3. 金融サービス	より良い生活をおくるための金融サービスを提供します。
4. ダイバーシティ	ダイバーシティと働き方改革を推進します。
5. 環境保全	持続可能な環境の保全に貢献します。

※SDGs: Sustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までの持続可能な開発目標のこと。

※マテリアリティ: 企業の社会的責任に関わるさまざまな活動における重要課題のこと。



ちばぎんをもっと近くに、もっと便利に。

ちばぎんとお客さまを結び
身近な窓口のご紹介です。

※こちらのQRコードを読み込んでください。

ちばぎんアプリ



LINE



Facebook



株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<https://www.chibabank.co.jp/>

2019年6月発行

